

平成 29 年 6 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

6 月の業種別景況の前月比 DI 値は、14 業種の内、好転が 3 業種、悪化が 2 業種、9 業種から昨年同等の報告であり、全体の景況感は若干好転している。

食料品、窯業・土石製品、卸売業では、好天が続き売上が増加しているとの報告もあるが、輸送機器と建設業では、作業量、受注量が減少している模様である。

人手不足は益々顕著となり、人件費の上昇や稼働率の低下を招き、中小企業の経営を圧迫している。

山口県の主要指標 DI 値（平成 29 年 6 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 2.5% 悪化：25.0% DI 値：▲22.5% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加： 15.0% 減少：28.8% DI 値：▲13.8% ポイント

収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 7.5% 悪化：25.0% DI 値：▲17.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 29 年 6 月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲28.6	0.0	▲33.3	▲50.0	▲33.3	11.1	0.0	▲15.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
0.0	▲33.3	▲50.0	▲18.2	▲40.0	▲14.3	▲100.0	▲27.7
							

全 体
▲22.5


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	長門・豊北地区は堅調。秋芳地区は修学旅行の激減で低調。スペースワールドの閉園により来年度は「山口→北九州コース」の変更が予想されるので不安がある。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	引き続き雇用情勢は厳しく、時給等が上昇している。	パン・菓子製造業 下関市
	売上は6/26日時点で対前年同月比ではぼいーブン。梅雨に入ったものの比較的天気の良い日が続き平日の来館者も多い。通常総会も無事終了し、駅長、事務局長ともマネジメントを若手に世代交代を進めている。これまでは事務局が集客エンジンの役割を果たしてきたが、今後は各組合員店舗中心に新製品・新メニューを投入しイベントも組合員主導に切り替えるなど、内部運営体制の変更を図っていく方向。	水産食料品製造業 萩市
	商品の動きが悪い。世の流れが読みづらい。	水産食料品製造業 下関市
	空梅雨で特に野菜などの農作物の生育に影響が出ている。地球温暖化に伴い、ゲリラ豪雨など、過去の知見が全くいかせない状況となっており、企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。	精穀・製粉業
繊維工業	現在、実習生は57名（中国人12名とベトナム人45名）である。中国人実習生6名が帰国したが、8/4、新規に6名入国の予定。	下着類製造業
	先月に続き、受注数が少なく苦慮している。	外衣・シャツ製造業 下関市
	追加発注、新規発注で約3か月先までの仕事量は確保でき、その後の発注を確保するために、サンプル作成に追われている。多少現場が混乱状態であるが、生産に活気が出てきた様に見受けられる。製品納期がほぼ決まっている為、効率のよい生産体制が組めるよう資材等の予定を詰めていきたい。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	長門市の材工分離の発注方式の大型公共工事（長門市の道の駅、ラグビー場クラブハウス、長門市庁舎）で木材を受注し、下旬より着手している。このような大型公共工事も、これが最後かもしれないとの声がある。	製材業・木製品製造業
印刷	中国地区印刷協議会が松江にて開催されたが、併せて事業承継セミナーが開催された。約60名の参加で、各社事業承継に関しても問題を抱えているようだ。	印刷 下関市

	売上は不変だが、従業員が増加しているため、実質的にはマイナス。	印刷 山口市
窯業・土石製品	6月の出荷量は、 (平成28年6月)骨材 81%、路盤材 82%、 再生材 92% ↓ (平成29年6月)骨材 88%、路盤材122%、 再生材142% 前年同月よりも数量は出ているが、販売価格が激安 なため売上は思ったほど出していない。	砕石製造業
	出荷量は、前月比104%、前年同月比109%。 現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に 問題は生じておらず、生コン価格は安定している。	生コンクリート製造業
	梅雨入りしたにも関わらず晴天続きのため現場仕事 は捗るが、気温の高さにまだ体がついていけず熱中 症対策が必要となっている。梅雨の後半に災害が起 きない事を祈りたい。	石工品製造業
	萩市内の観光客数及び売上は前年同月比で減少傾向 にある。3月4日にオープンした「萩・明倫学舎」 の来館者は順調に推移している模様だが、館内販売 している当組合の商品は売上が伸びておらず、商品 構成等の検討を行っている。この「萩・明倫学舎」 は、建設予定であった3、4号館整備と萩藩校明倫 館孔子廟の移転復元整備について新市長が公約通り 見直す考えを明らかにしているので、整備推進派の 市民団体は署名活動を行うなど、今後の行方が注目 される。組合が商品を提供している浅草のアンテナ ショップの6月売上は、前年同月比で、(入館者数の 減少のためなのか、東京都議選挙の影響なのか)大き く下回っている状況。関東・関西方面の百貨店や問 屋・陶器店からの受注も、前年同月比で同等に推移 している。例年萩焼の売上げが少ない月なので、7 月・8月に向けて、青・水色のピアカップ・フリー カップや硝子の釉薬を施した皿・鉢など、夏向けの 商品を重点的に販売していきたいと考えている。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	組合員各社とも良好な状態で、大型物件の受注をは じめとし益明けまでの受注を抱えている。海外プラ ント関係は良好。雇用面は相変わらず人手不足。	一般機械器具製造業 防府市
	機械検査、機械加工関係の下請け企業の受注状況は 引き続き安定。食肉加工、惣菜、自動車、造船関係 は好調で残業も多く、パート、派遣も含め人材の確 保が困難であり、外国人技能実習生受入の増員につ いて、また、農業、建設、自動車整備関係企業から も実習生受入の相談があった。なお、介護の受け入 れについても、複数の介護施設からの要望があり、	一般機械器具製造業 宇部市

	<p>受入れの準備を進めている。11月からの制度改正にともない、人数枠の拡大、5年への延長についても要望があり準備を進めている。</p> <p>5月と同程度で推移。</p> <p>金型および成形製品の生産状況は前年同月とほぼ大差はない。求人を行っても、売り手市場で中小企業にまで人材が回らず、求める人材の確保が出来ない。行政の意向を受け、取引条件の変更通知や依頼が増えている。約束手形・ファクタリングから現金翌月支払への好転変更はわずかで、ファクタリングから約束手形・電子手形、約束手形から電子手形への事務効率化を目的とした変更依頼が多い。行政の意向とはズレているように思う。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>鉄道車両部門は作業量に恵まれ好調な業績であるが利益増には至っていないため、好調であるという実感が乏しい。精密加工部門は前年度より作業量が減少して横ばいの状態である。更に産業プラント部門は落ち込みが大きく、先行きが案じられる。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>6月に入り、海苔の在庫数量は前年同月比で▲9.5%となり、売上も▲5.7%となった。“いりこ”の入庫も前年同月比で36.5%にとどまっており、7月の入庫を期待している。</p>	乾物卸売業
	<p>魚の入荷は増えてきているが価格が安いのであまり収益が上がらずにいる。“ふく”はシーズンオフとなり、夏場に向けて売上がどんどん減少している。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>雨が降らず真夏の暑さが続き、飲料の売上が増加しているので、収益増が期待できる。</p>	各種商品卸売業
小売業	<p>各メーカー、各組合員の話では、売上は前年同月比で微減とのこと。新商品が出たが、売上にはあまり反映されなかった模様である。7月からは季節商品が売れ始めると思われる。</p>	化粧品小売業
	<p>地区の中小企業者は、米軍艦載機の岩国基地への移駐が決定し、政府の岩国市への基地対策予算に期待をしている。建設業・設備業は米軍住宅や防音工事等で恩恵があり、飲食サービス業は由宇町海水浴場への米兵やカーブ観戦者の訪問増加もあり消費拡大に期待している。また、レストランや食堂も週末に家族客が多く繁盛している。小売業については従来通り厳しい状況が続いているが、大手ドラッグストアや地元スーパーのチェーン店は集客力があり、地区の薬局・酒販店への打撃は大きい。</p>	各種商品小売業 岩国市
	<p>梅雨に入ったが暑い日が続いており、前年同月よりも土日祝日の客数が少し多いように感じられる。7月の夏のイベントに期待したい。</p>	各種商品小売業 山口市

	空梅雨で商店街への来客数の増加を期待したが、天気の日でも大幅な来客数の増加はみられない。お客様にポイントを還元する「ポイント祭」を7月に開催するので、各店舗の収益増加を期待しているところ。	各種商品小売業 下関市
	今月は、客数、売上とも前年を下回る厳しい状況。	各種商品小売業 長門市
商店街	雇用の確保が難しい状況が続いている。夏物商戦に突入したが、同じ業種でも売上好調な店舗と不振な店舗との格差が生じてきている。お客様待ちの姿勢からなんらかの方法に転じないとならない。	山口市
	商店街を商業のみで維持していくことが難しい時代になっていると思う。多様な組織の集合体を目指していくべき時期に入っている。	宇部市
	衣料品店が多少上向きである。生鮮食料品は野菜の値段が上下し、値段の設定が難しい模様である。7月は土曜夜市の開催に向けての準備で日頃より忙しくなりそうである。	萩市
サービス業	梅雨時期の髪の毛はまとまりがなくなるので来店を期待したが、5月下旬から6月上旬の売上は減少した。雨が少ない梅雨だが、中旬から下旬にかけての売上は例年通りまで回復した。	美容業
	梅雨入りしたにも関わらず暑さの厳しい晴天が続いた。雨でお休み等の来客を期待したが、例年と同等である。	理容業
	山口県内の軽自動車新規新車販売台数は、平成27年9月以降、対前年同月比がマイナスで推移したが、平成29年4月以降、2ヶ月連続で一転してプラスに動いてきている。また、夏以降には軽自動車人気モデル車種のモデルチェンジが行われるので、販売動向が注目される。	自動車整備業
	人手不足が続いている。それによりお客様の入会（子どもの会員）を断っている。	スポーツ・健康教授業
	宿泊人員及び売上高も前年並みであった。宿泊人員については、2つの老舗旅館の廃業がマイナスの要因であるが、今年のこの時期に改装工事で休館のホテルが今年は通常営業をしている事でマイナス分がカバーされている。	旅館業 山口市
	例年売上が落ち込む時期ではあるが、今年は特に減少の模様である。ビジネスホテル系は、近隣に最新ホテルが出来たために、そちらに客が流れている模様である。	旅館業 下関市
	施設利用者（入浴者数）は昨年並みを確保しているが、売店部門の売上高の減少は続いている。高齢化により退職者があり、雇用人員が減少している。	旅館業 長門市

	山口地域においては例年、農繁期が暇な時期となる傾向がある。又、この時期は天候にも左右される。	飲食業
	5月も伸び悩み、6月も厳しい状況が続いている。生活様式の変化により、10年前にはたくさん出ている絨毯がほぼ無く、こたつ布団も数年前の半分。毛布・布団・絨毯で半分占めていた6月の売上が減ってくるのも当然である。またファブリーズなどで済ませてしまう消費者も多い模様で、洗わないと大変なことになるという啓発をしていかなければならない。	普通洗濯業
	旅行シーズンとなり、観光客が少し増加。	旅行業
建設業	5月の中電への工事申請は142件、太陽光発電の申請20件、オール電化申請87件。LED街路灯への切替・新設は17件であった。	電気工事業
	春先から工事量が減っているが秋口からやや回復に向かう見込みである。山口県では、技能検定1級及び2級の受験者が多く、近県が10名前後のところ、山口県は38名である。	左官業
	順調に発注があり、皆、順調に仕事をしている。米軍艦載機部隊移転の単価の高い仕事に、岩国まで出張して仕事をしている者もある。夏場に向け、誘導員（ガードマン）がさらに不足しているが、キツイ仕事を辞める人の方が多く絶対数が減少しており、人件費が上がっている。またこの時期は、まだ暑さに慣れていないため熱中症が心配である。ガソリンは123円程度で落ち着いている。	管工事業
	梅雨入り後の雨天が少なく、順調に受注工事を消化している。売上不振により1組合員が脱退し、先行き不安を感じたが、事業承継により個人事業者として組合に在籍し、再出発する組合員もあり、組合として事業承継の問題を本気で提起し取り組まねばならないと思う。	屋根工事業
	5月に一旦落ち着いた内装工事が6月に更に減少したため、売上が低下し、稼働率も50%くらいと予想通りの結果であった。単月の業績の低下は著しいが、業界としては落ち着いているのも、7月からは稼働率が一気に100%を超え、また人手不足となるぐらい忙しくなることが予想されるためと思われる。7月以降は順調に推移するであろう。	内装工事業
	柳井地区の中堅・中小企業者も工事量の不足に悩んでいる。鶏舎等の建築に係る業者の一部は工事量が増えている。民間工事にシフトした事業者の動向・詳細は判りかねるが、縮小しているように思われる。	土木工事業 柳井市

	受注高は、対前年同月比1%。今年度の累計は、対前年比33%。	土木工事業 萩市
運輸業	<p>輸送関係は相変わらずの長距離ドライバー不足により稼働率が低下している。中・短距離は横ばいの状況。燃料費は円相場に左右されながら、2円の値下げ。燃料費は下がったが稼働率が少ないため経営は芳しくなく、収益は前年同月比で▲5%となった。ドライバーの労働時間についてはドライバー不足で改善がならず、むしろ一層厳しくなっている。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	輸送の受注は、5月に続き前年同月比で5%程度プラスの見通し。予想以上の推移だが、喫緊の課題である乗務員不足は解消されていない。経営を維持するためには、今後、運賃の見直しの交渉が必要な状況である。	一般貨物自動車運送業 防府市
	運送の物量は若干増えているようである。燃料安が収益状況に好影響となっている。倉庫案件は安定して受注している。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	例年この時期は、農繁期と会社異動等がないため売上が伸びないが、今年は前年同月比で5%弱売上が減っている。	一般旅客自動車運送業 下関市
	<p>タクシーチケットの取扱金額は、前年比+2.1%(平成29年5月1日～平成29年6月20日分)。5月1日～31日分は+5.5%、6月1日～20日分は▲2.4%。前年度の金額が大幅に落ちた事(前年5月分▲8.7%)もあるが、少し回復傾向にあるように思われる。当組合の取扱は、光市、下松市、周南市、防府市の地域だが、5月分については、周南+5.9%、下松+13.5%、光+5.8%、防府市地区が▲1.3%で、組合員の全域では+5.4%、地区外(員外)+6.4%で合計+5.5%であった。主要燃料であるLPGは、CP(通告価格)と為替に連動して変動し、前月に続いて下がったが、ブタン、プロパンのCPはまだ前年に比べると高い状態である(前月440.0\$/トンが今月390.0\$/トン、前年372.5\$/トン)。為替が少し円安になり、燃料単価は、前月より▲5%となったが、前年6月分に比べると+5%となった。タクシー乗務員は慢性的に不足し、高齢で退職する人員減少を採用で補いきれないため、稼働できない車両がある状況。前年度の落ち込みが激しかったこともあるが、5月は増加し、6月も少し苦しい感じもあるが、少し回復傾向にあるように感じる。株主総会等、周南コンビナート企業は比較的良い数字が出ているようだが、タクシー需要につながるかどうかは、まだまだ難しいところだと思われる。</p>	一般旅客自動車運送業 周南市

	セメント関連の出荷が伸び、取扱高が増加。	港湾運送業
その他 非製造業	引き続き人手不足に悩んでおり、技能実習制度に期待。	介護事業